

## 生活安心情報

低圧進相コンデンサの火災に注意！

### 「低圧進相コンデンサ」とは

電圧200V～600Vで受電している工場や飲食店等において、モータで稼働する設備や業務用冷蔵庫等の消費電力を抑える目的で、配電盤などに設置されているものです。

管内で発生した火災の様子



焼損したコンデンサ



## 長年ご使用の「低圧進相コンデンサ」は火災の危険性があります！

昭和50年(1975年)以前に製造された低圧進相コンデンサは、既に寿命がきており、場合によっては火災に至る危険性があります。

特に、梅雨から夏場にかけて発生しやすい傾向があります。



製造年は銘板で確認  
下さい。

製造年を確認してください



昭和50年(1975年)以前に製造された「低圧進相コンデンサ」は、保安装置が内蔵されていないため、取替をお願いします。

### 「低圧進相コンデンサ」の火災を防ぐために

1. 機器を使用しないときはメインブレーカーを切り、「低圧進相コンデンサ」に電圧がかからないようにしましょう。
2. 特に昭和50年（1975年）以前に製造された製品には保安装置が内蔵されていないため被害が拡大する危険性があるので使用の停止や交換することが必要です。
3. 設置から概ね10年以上経過したものは、専門業者による点検を受け、計画的に交換することが推奨されます。